

食品安全委員会セミナー

「食品分野におけるナノテクノロジーの今－世界の動きを中心に－」

1. 日 時：平成21年12月11日（金）14：00～16：03
2. 場 所：東京国際フォーラム ホールD1
3. 主 催：食品安全委員会
4. 参加者： 76名（食品関連事業者、研究機関、自治体関係者、報道等）
5. 議 事
 - (1) 開会
〈司会進行〉新本 英二（内閣府食品安全委員会事務局リスクコミュニケーション官）
 - (2) 開会挨拶 小泉 直子（食品安全委員会委員長）
 - (3) 講演
 - ①食品分野におけるナノテクノロジーについて
立川 雅司（茨城大学農学部准教授）
 - ②食品分野のナノテクノロジー－オーストラリアの展望と世界的展望－
アンドリュー・バートーロマス（オーストラリア・ニュージーランド食品安全
基準庁リスク評価部門ゼネラルマネージャー・食品分野におけるナノテク
ロジー利用に関する FAO/WHO 専門家会議議長）

・立川先生より、食品分野で使われるナノテクノロジーの概要、海外の動向、研究開発の様子、日本における市民参加型テクノロジーアセスメントの紹介等が行われた。続いて、バートーロマス博士から、海外におけるナノテクノロジーのリスク評価、オーストラリアおよび FAO/WHO での検討状況等について紹介された。
 - (4) 会場との意見交換
・ナノテクノロジーの定義、リスク評価アプローチの柔軟性、遺伝子組換え作物・食品におけるリスクコミュニケーションとの比較、ナノテクノロジーの毒性評価など、幅広い意見交換が行われた。
 - (5) 閉会